第22号　2012年3月

# 鶴マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター　地域医療連携室（直）0436-50-6501　ＦＡＸ　0436-50-6503
〒290-0512　千葉県市原市鶴舞575　　0436-88-3111(代表)　ＦＡＸ　0436-88-3032
ＵＲＬ　http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html

**循環器病センター５つの運営指標**

- ○ 良質で模範的な医療の提供を目指します。
- ○ 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
- ○ 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
- ○ 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
- ○ 透明性の有る医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

## 認定看護師がみなさんのケアにあたります！！！

### 認定看護師ってなぁに？

**日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた看護師で、水準の高い看護実践を通して以下の役割を担っています。**

**①実践:個人・家族・集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践します。**
**②指導:看護職に対し看護実践を通して指導いたします**
**③相談:看護職に対するコンサルテーション**

**当センターには複数の認定看護師がおります。当センター利用者の皆様により良い看護を提供できるように努めてまいりますので、皆様安心してご来院ください。**

### 21分野もあるの？！～認定看護師の種類～

- 新生児集中ケア
- 透析看護
- 手術看護
- 乳がん看護
- 摂食．嚥下障害看護
- 小児救急看護
- 認知症看護
- 脳卒中リハビリテーション看護
- 救急看護
- 皮膚．排泄ケア
- 集中ケア
- 緩和ケア
- がん化学療法看護
- がん性疼痛看護
- 訪問看護
- 感染管理
- 慢性心不全看護
- がん放射線療法看護
- 慢性呼吸器疾患看護
- 糖尿病看護
- 不妊症看護

専門・認定看護師チームの会議

他職種との連携の様子

現在6名！！専門・認定看護師チーム

# 脳卒中リハビリテーション看護
# 認定看護師　長谷川Nsインタビュー！！
## 早期リハビリテーションに向けて
## 患者さんのサポートをさせていただきます！！！

**１．当センターの専門・認定看護師の体制**

小児看護専門看護師１名　、集中ケア認定看護師１名、感染管理認定看護師1名
心不全看護認定看護師１名、摂食嚥下障害Pre認定看護師１名、私の６名で活動しています。

**２．認定看護師の資格取得のきっかけ**

新人時代に脳外科と整形外科の混合病棟、その後は救命センターや在宅看護などの経験をしていく中で、脳卒中の患者さんやご家族と関わる機会が多く、自分の専門的知識を深めたいと思ったことがこの分野を選択した大きな理由です。

**４．認定看護師を取得してから変化したこと**

今までは自施設のみでの活動であったのが、全国にネットワークができ施設外（看護学校の講師等）での活動といった施設外での活動が増えたことが大きな変化です。

**５．どんなことに気をつけて看護にあたっているか**

常に相手の立場に立ち、医療者中心ではなく患者さんやご家族中心の医療を提供できるように心がけています。

**７．他職種との連携**

担当看護師を中心に患者さんのことについてカンファレンスの場を設けるのですが、その場に他職種の方にも参加してもらったりしています。また、ICU、CCU/SCUの朝の医療回診に参加しているので、その時にタイムリーに患者さんの相談をしたり、逆に相談を受けたりしています。

**９．今後の目標**

急性期病院を退院した後は、回復期病院や療養型病院への転院や在宅、施設など転帰先は様々ですが、途切れのない一貫した医療を提供できるよう活動していきたいと思っています。また、脳卒中再発予防看護外来も設立予定なので、看護外来を充実できるよう準備していきたいです。

**１０．看護師になったきっかけ**

自分自身、高校生の時に入院したことがあったのですが、その時に出会った看護師さんがとても優しくて、素晴らしい仕事だなと思い看護の道を選択しました。

**１２．休暇はとれているか**

正直、自分の休みを使って対外活動していることが多いですが、休む時はしっかり体を休めるように心がけています。

**１３．休日の過ごし方**

愛犬と一緒に遊ぶのが楽しみの一つです。実家にフレンチブルドックが４匹いて、嫁ぎ先にはグレートピレニーズという大型犬がいます。

**１４．当センターに入院されている方、読者の方へ一言**

「リハビリテーション看護とは人間の可能性を信じて最後まであきらめないこと」
これは、私のモットーです。脳卒中病棟では、看護師が日常生活ケアの中に365日リハビリテーションを取り入れることを目標としています。脳卒中を発症した患者さんは主体性が発揮されにくい状況にあります。できないことに目を向けず、その人らしい生活が送れるように今後も患者さんやご家族と関わっていきたいと思っています。

## ～皆様のご参加ありがとうございました～

# 市民公開講座を開催しました！

**★市民公開講座★　1月26日（土）**
**「内科的見地から見た呼吸器疾患」**
**藍　寿司　内科部長**
**「いきいき呼吸体操」**
**森　加寿美　主任看護師**
**児玉　信之　理学療法士**

今回の市民公開講座では、空気の乾燥した冬に流行する肺を中心とした呼吸器の病気について藍内科部長から説明した後、呼吸器を活性化させる呼吸体操について、森主任看護師とリハビリテーション科の理学療法士の児玉技師が実演を行いながら説明いたしました。

前半の講演では、良く耳にする喘息の怖さからCOPD（慢性閉塞性肺疾患）という耳慣れない病気についての解説と非常に幅の広いものとなりました。

後半の講演では、職員が呼吸体操について解説した後、実際に参加者の皆さんにも一緒に呼吸体操を行っていただきました。呼吸体操を行う際には多くの参加者の方が一緒に行ってくださり、非常に充実した講座となりました。

次回の市民公開講座は、6月29日（土）を予定しております。この広報誌でもお知らせしますので、是非ご参加ください。

↑藍部長の講演の様子　実演を交えて説明しています↓

## ギャラリー二つ返事のご案内

3月前　桃花会大多喜支部
『ペン字展』

4月　鶴舞藩を知る会
『掛軸・写真展』

5月　パンフラワー岩月教室
『パンフラワー展』

2月の双炎さんによる陶芸の展示

## クリスマス会を開催しました！

**平成24年12月14日（金）**

今年も多くの方のご協力のもとクリスマス会を開催いたしました。多くの催しのもと入院患者さんにクリスマスを楽しんでもらうことができました。

職員による出し物の様子

# “紹介状をお持ちください”

## 初めて千葉県循環器病センターを受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください

千葉県循環器病センターは、循環器系疾患（心血管疾患、脳血管疾患）を中心とした高度先進医療を行っております。また、地域中核病院として他の病院・診療所と密接な連携を図りながら症状の重い患者様のために二次および三次の救急医療を行っております。急性期医療を担っており、急性期紹介型の病院を目指しております。このため、すべての患者様への対応をすることは人的物的な資源から困難となります。当センターへ受診される場合は、できるだけかかりつけ医または地域医療機関からの紹介状の持参をお願いしております。

また、急性期医療を終え、病状が安定した方については、かかりつけ医または紹介元の医療機関等での診療の継続をお願いしております。

当センターの診療および業務内容をご理解された上で、紹介状持参をして受診していただければ幸いに存じます。

### ❀紹介状持参するメリット

①かかりつけ医から電話で診察予約ができる。
②外来診療が優先的に受けることができる。
③当日予約と比べて待ち時間が少ない。
④初診時の本人負担額が軽くなる。

### ❀診察予約・受診方法

①かかりつけ医で紹介状作成してもらいます。
②かかりつけ医から電話で診察予約を取ります。
③診察予約日時を記入した予約票をかかりつけ医へFAXします。
④診察予約当日、紹介状持参し、予約時間に合わせて来院し、窓口で受付します。

ご不明なことがありましたら、千葉県循環器病センター
地域医療連携室までお問い合わせください。

お問い合わせ先
千葉県循環器病センター
地域医療連携室
TEL　0436－88－3111（代表）